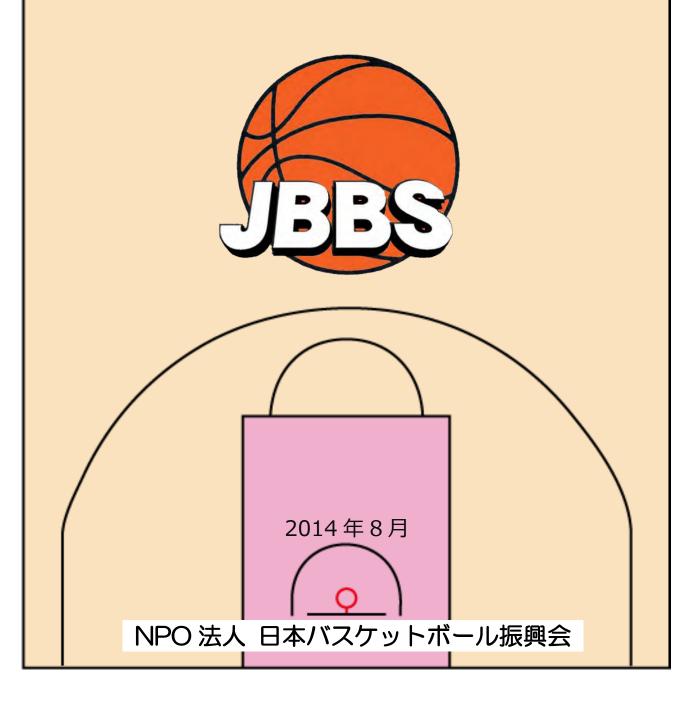
## バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

*No:63* 



### 目 次

0	全国シニア交歓大会 in YOYOGI・・・・・・・・・・・ 第7回目も2日間にわたって開催	2
$\bigcirc$	日本協会26・27年度役員体制・・・・・・・・・・・・・・1	. 9
$\bigcirc$	統一プロリーグ創設に向け話し合いスタート・・・・・・・・・・2	2 1
$\bigcirc$	男子日本代表も強化開始・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	2 4
$\bigcirc$	女子日本代表の強化進む・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	8 3
$\bigcirc$	世田谷区中学生クリニック開催・・・・・・・普及部・総務部・・・2	9
$\bigcirc$	NBLファイナル成績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 NBLの初代王者は東芝	3
$\bigcirc$	b j リーグファイナル結果 ・・・・・・・・・・・・・・・3 王座を制したのは沖縄	3 4
0	人物抄 乙部 功さん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	8 5
0	会員だより バスケットボール湘南だより(その7)・・・・・・ 中瀬達雄・・・3 バスケットでの特別ルール:短身者の夢・・・・・・ 佐藤精孝・・・3 1964 東京オリンピックの座談会を読んで・・・・・ 須田武志・・・4	9
$\bigcirc$	バスケットボール書物紹介(外国編) ・・・・・・・須田武志・・・4	. 2
$\bigcirc$	事務局だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	4
$\bigcirc$	プラザ こぼればなし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4	5

#### 全国シニア交歓大会 in YOYOGI

#### 第7回目も2日間にわたって開催

[編集部]

今回で第7回目を迎えた「全国シニアバスケットボール交歓大会 in YOYOGI」は、昨年と同様6月6日~7日の2日間にわたって代々木第二体育館で開催された。男子8チーム、女子4チームが参加し、総参加者は150名を超えた。今回は参加チーム数が多くなったため、試合時間を10分ハーフとして、試合開始時刻の遅れを防止した。また、男子においては70歳以上の試合を設け、より高齢の方にも楽しんでいただいた。

参加資格は男子60歳以上、女子50歳以上だが、遠くは北海道帯広や神戸、長野から 参加されたチームもあって、交歓大会という和気あいあいの雰囲気ながら、試合となると 皆元気いっぱいに代々木のコートを走っていた。

参加者は、学生時代に代々木でプレイしたことのある経験者から、初めて代々木でプレイするといった方々まで含めて、バスケットのメッカともいえる代々木第二体育館での試合を楽しんだ。

第1日目、天候はあいにくドシャ降りの雨となったが、試合後に渋谷駅前で開催された合同懇親会には90名を超すシニアが参加して盛り上がり、参加者同士が楽しく交流を深めることができた。懇親会では各チームの自己紹介が行われ、それぞれが面白おかしく自分のチームをアピール、おなじみとなった阪神タイガース応援歌である「六甲おろし」の替え歌で作った「シルバーキッズの歌」も飛び出し明日への健闘を誓った。

#### 試合の結果

#### 6月6日(金) 男子

チーム名	スコア	チーム名
トロッターズ(埼玉)	○32-10●	千葉 COKICOKI(千 葉)
東京 駄 馬(東京)	●15-22○	横浜ビーシーガルズ(神奈川)
帯 広 シ ル バ ー ズ(北海道)	$\triangle 23-23 \triangle$	S O S(東 京)
千葉 COKICOKI(千 葉)	●14-22○	シルバーキッズ(兵庫)
横浜ビーシーガルズ(神奈川)	●21-24○	トロッターズ(埼玉)
7 0 歳以上選抜(参加者)	●19-21○	S O S (70歳以上)
シルバーキッズ(兵庫)	●23-24○	帯 広 シ ル バ ー ズ(北海道)

#### 6月6日(金) 女子

チーム名	スコア	チーム名
千 葉(千 葉)	○20-17●	シルバーキッズレディス(兵庫)
シルバーキッズレディス(兵庫)	●17-37○	入間テンダース(埼玉)

#### 6月7日(土) 男子

チーム名	スコア	チーム名
帯 広 シ ル バ ー ズ(北海道)	○17-16●	千葉 COKICOKI (千 葉)
シルバーキッズ(兵庫)	○20-16●	セブンブラザーズ(東 京)
シルバーキッズ (70歳以上)	●11-15○	7 0 歳 以 上 選 抜(参加者)
S O S (70歳以上)	○16- 6●	シルバーキッズ (70歳以上)
千葉 COKICOKI(千 葉)	●10-26○	横浜ビーシーガルズ (神奈川)
セブンブラザーズ(東 京)	○27-26●	S O S (東京)

#### 6月7日 (土) 女子

チーム名	スコア	チーム名
入間テンダース(埼玉)	○11- 8●	车 葉 (千 葉)
シルバーキッズレディス(兵庫)	●13-31○	長野クラブシニア(長 野)
千 葉(千 葉)	●16-23○	長野クラブシニア(長 野)
長野クラブシニア(長 野)	●23-41○	入間テンダース(埼玉)

#### <男子参加チームと参加者からの感想>

[SOS(STARS OF STARS)] 〇印振興会会員

選	手	氏	名	年齢
江	Ш	嘉	孝	7 1
奥	田	晃	紀	7 1
前	島	康	礼	7 1
○鈴	木	進	吾	7 1
篠	原	正	邦	7 0
○諸	Щ	文	彦	7 0
鹿马	木木		雅	7 0
木	村		勲	7 0
小	玉		晃	7 0
窪	田	博	仁	6 9
饗	場	憲	$\vec{\underline{}}$	6 7
=	浦	眞	造	6 5
松	下	成	裕	6 5
高	倉	潤-	一郎	6 3
柳	沢	研	$\vec{-}$	6 3
小	林	辰	彦	6 2
加	藤		護	6 2
小	池	紀	彦	6 2
渡	辺		徹	6 1
JII	内		孝	6 0



#### 全国シニア交歓大会 in YOYOGI に参加して

SOS 小林 辰彦

原宿駅に最後に来たのは、何時のことだったのだろう。40年近くは経っているせいか 代々木体育館に向かう最初の歩道橋で一寸どちらに向かうのか立ち止まってしまった。体 育館に続く石畳の長かったことも思いだしながら、ようやく正面入口に足を踏み入れた。 観客席の上段からコートを見下ろすと女性のゲームの最中で、両チームが速攻を展開して いるところだった。

初めてこの大会に参加する私としては女性も出場することは承知していたものの、年齢は若くても60才近くと認識していたのだが・・・板についたユニフォームを翻し、なかなかのステップで走り回る様はどうみても私が認識していた年齢層と一致しない。違う大会も一緒に行われているのかと寸時、混乱してしまった。後刻、お聞きした実際の年齢層はもっと若かったのだが、それでもご立派の一言。女性の活躍は、このようなところでも際立っているのだと改めて感心してしまった。と同時に2年ほど前、高校時代の大先輩から声をかけていただき、60才を期にSOSの練習に参加し30年ぶりにバスケットボールを手にすることになったのだが、初めて応援にいった横浜カップの試合を思いだした。

ある種のカルチャーショックだった。SOSのゲームが始まる前、他のチームの試合を見た。その頃のSOSの月2回の練習はハーフコートが主体だったのだが、オールコートでのせめぎあいは、私の想像していた60才以上のゲームとは思えなかった。自分自身の練習ではランニングシュートは恐怖心もありウォーキングシュートに近いし、ディフェンスからリバウンドで競り合おうものなら酸欠状態でオフェンスに走って参加できない。大袈裟なと思われるかもしれないが、目の当たりにした横浜カップのゲームには感動した。

以来、練習を重ね、昨年からはゲームにも参加させていただくようになり、一向につく 気配のない筋肉と思ったほど回復しない体力に苛立ちながら今やバスケットフリーク。ゴルフも止め、一切の運動をしなくなった40代の頃、中学校の体育館でおじさんバスケットをやっているから参加してみたらと勧めてくれた配偶者も、今では呆れ顔の体。

それにしても、まさかこの年になって代々木体育館で試合ができるとは。さらに毎年、会場の手配をはじめ運営する主催者の方々の情熱には頭が下がるばかり。肝心の試合はタイムアップ寸前の大逆転勝ちを逃し、相手チームに溜飲をさげさせる結果となってしまった。

敗戦のせいか、原宿駅に向かう雨の石畳は、往路よりさらに長く感じられた。駅で傘をたたみながら、ふと敗戦の悔しさを感じられるうちは、未だ若いのだなと晴れやかな気分になった。来年もこの聖地で、SOSの屋台骨である70才を超えた長老をはじめとする同じメンバーで試合ができることを祈って、原宿駅をあとにした。

#### 38年ぶりの代々木第二体育館

SOS 三浦 眞造

2年前からシニアの大会、横浜カップに故郷の岩手チームから参加しております。岩手の油井監督が高校のOB会の会長で、参加しろと誘われて練習もやらないでいきなりの本番でしたので、試合が終わった後は足の筋肉痛等、死ぬ思いでした。今年の越谷での大会のゲーム終了後、SOSのメンバーとフロアが一緒になり、6大学がベースのチームだから私も権利があると誘われ、色々ありましたが結果的にはSOSのメンバーになり、3月からはほぼ毎週、土曜日の午後、練習するようになりました。何よりも健康に良いのと練習後の飲み会が懇親会とな

っております。シニアの関東リーグも始まりました。代々木での試合が毎年6月に企画されていて、あの第二体育館で試合が出来ると聞いて楽しみにしておりました。

私はバスケットボールを中学から始めました。高校までは、岩手の水沢で育ち、大学以降は東京にて関東大学リーグ戦、日本リーグ等、代々木第二体育館では数多くの試合を行ない思い出も多くあります。今月(7月)で66歳になりますが28歳で現役をやめましたから、先月の代々木第二体育館での試合は38年振りとなります。意外だったのは、大して感激した訳でもなかったことです。その理由を分析してみると、建物はそのままでも、コートが改装され、私にとって強烈なイメージとして残っていた…「フリースロレーンが真っ赤な台形、床の色が茶色」から「水色の長方形・黄色っぽい床」…に変わっていたためではないでしょうか。しかし、驚いたのは、ゲームの始まる前のレフリーの方に声を掛けられて、顔を見たら、なんと現役時代に数多くレフリーをしていただいた小澤さん(前振興会理事長)でした。懐かしい方に笛を吹いていただき、こちらは感激いたしました。

#### 全国シニア交歓大会 in YOYOGI に参加して

SOS 小池 紀彦

今回初めての参加者として、往年の素晴らしいプレイヤーの皆様に会う機会ができ、大変感動しています。多少、皆さん年はとったようですが、この年齢になって尚バスケットができる喜びに張り切ってプレイをしていたのが、大変印象的でした。

今回私は、残念ながら皆さんと一緒にプレイすることが出来ませんでしたが、次回は是 非皆さんと一緒にフロアの上を、走り回りたいと思います。

体調管理に気を付けて、バスケットボールを大いに楽しみましょう。今後とも、皆さん 怪我に気を付けながら、よろしくお願いします。

#### [COKI·COKI (千葉)]

				'	1 / / /
選	手	氏	名		年齢
ОЩ	本		治		7 9
志	賀	政	司		7 5
油	井	康			7 5
岡	田	忠	士		7 0
大	澤	弘	次		6 9
○渡	辺	時	男		6 9
西	郷	隆	輝		6 8
渡	辺	直	幸		6 6
高	松	昭	$\stackrel{-}{\longrightarrow}$		6 5
加	藤	薫			6 5
大	西	卓目	日臣		6 4

#### ○印振興会会員



#### バスケットボールツーリズムへの道

COKICOKI 大澤 弘次

ウイークデイではあるが、代々木大会参加のため第二体育館へ来たのは6月6日(金)9時前であった。開館前ではあったが少し待っていると顔なじみの方々が来られ久しぶりの挨拶を交わす。この振興会主催による代々木大会も、思えば第1回から参加させていただき幸運に思っている。

なにしろバスケットボールのメッカ代々木のコートである。このコートでプレイすること自体考えられなかったあの頃中学生時代、新しい時代のスポーツ、足が長くなる、背が高くなる、スクリーンに映し出させるかっこいい石原裕次郎、等に感化され、バスケットボールに憧れ部活に入ったもののボールの扱い方すら思うようにできず、先輩たちのプレイを見よう見まねで過ごした中学高校の部活時代であった。

それから10年程の空白期間を経て、埼玉県越谷市で再びバスケットボールに出会うことになる。バスケットボール教室の募集を目にし、指導を受けることになった。今から40年ほど前のことである。以来定期練習は欠かすことなく今日に至るのであるが、15年ほど前に一冊のバスケットボール指導書(李宇載著)に出会い、より一層親しみを持つようになった。そして長いこと夢にすら見ることもなかった代々木のコートで毎年プレイさせていただいて幸せな限りである。

今大会は、男子8チーム、女子4チームと70歳以上の対戦も組まれ、より充実し大きな大会となり、また著名な方々と同じコートでプレイできた喜びでいっぱいです。振興会のご尽力に感謝を申し上げます。

この代々木大会の前身でありました埼玉県東松山市の大会に5回ほど出場させていただき、その中で振興会の紹介を受け、バスケットボールの普及・発展に寄与している団体であることを知りました。私自身、昨春入会させていただき、また今年1月には、全国ゴールデンシニアバスケットボール交歓大会 in 越谷においてご支援いただいたことは記憶に残ることであります。

交歓大会の目的は、日頃の練習でやしなった技術・体力・精神力をコートの中で発表し 競い合うものであるとともに、交歓・交流を通して人と人との出会いを大切にし、親睦を 深めることにあると思います。今大会でも懇親会を開いていただき、バスケットボール談 義に花が咲き、楽しいひと時を過ごさせていただきました。これからも状況の許される限 り、各地域で行われるバスケットボール大会に参加させていただき、人々と触れ合い、文 化・歴史を学び、バスケットボールツーリズムを満喫出来ればと願ってやみません。終わ りに草バスケットボールの一人のプレイヤーを代々木第二体育館のコートにまで引き上げ

ていただいた、チームのリーダーでもあり、理念の師である 渡辺時男氏に感謝とこれからのご指導を お願いし、今大会の 感想文とさせていた だきます。



[東京・駄馬] ○印振興会会員

					** **
į	異	手	氏	名	年齢
ナ	7	埜	敦	彦	7 0
Ė	星	月	慎	_	6 9
福	Ī	田	健		6 7
Ц	1	田	脩	_	6 5
祁	<b>†</b>		康	雄	6 4
团	<b>5</b>	Ш	功	$\stackrel{-}{\longrightarrow}$	63
	11	田	俊	幸	6 2
○ ħ	新	田	龍太	郎	6 2
ナ	7	沼	正	夫	6 0
7	<u>7.</u>	野	秀	昭	6 0
菔	K T	田	覚	史	6 0
岩	計清	水	芳	樹	6 0
卢	L 1	山	祥	司	6 0



[横浜ビーシーガルズ] ○印振興会会員

122	工	屲	Þ	<b>左</b>
選	手	氏	名	年齢
村	山	繁		7 0
斉	藤	隆		7 0
○篠		武	志	6 8
揖	場	熙		6 7
狩	野		治	6 6
藤	田	哲	治	6 6
古	内	康	雄	6 5
朝	山	正之	と進	6 5
柳	沢	保	雄	6 5
熱	田	学		6 5
	戸	政	角	6 3
ОЩ	上	久	夫	6 3
宮	沢	保	明	6 3
安	田	仁		6 2
○瀬	下	秀	人	6 2
田	中	辰	夫	6 2
米	村	成	義	6 1
斉	藤	博		6 1



#### 全国シニア交歓大会 in YOYOGI に参加して

横浜ビーシーガルズ 狩野 治

いよいよ梅雨に入り朝から強い雨の中、我々横浜ビーシーガルズは第2試合開始に合わせ代々木第二体育館に集合しました。早速ユニフォームに着替え準備体操、そんな中メンバーの一人が「誰かスマホで写真撮ってくれないか」とのこと、「何するの?」と尋ねると、「今ここでバスケの試合をすることを息子や孫に見せたいから」ということでした。このメンバーの息子は、沖縄の石垣島に定住し、地元で選手としてまた協会の理事として頑張っている。このメンバーにはもう一人息子がいるが、現在もNBL三菱電機名古屋でスリーポインターとして活躍している選手。この息子は何度となくここで試合をしたことであろうが、自分としては初めての体験であり、息子と同じコートに立ち試合をするという喜びが、他の人より強かったのでしょう。

バスケのメッカと云われるこの代々木第二体育館で試合をするということは、我々の年代の憧れでもあり、また往年の名プレイヤーやオリンピック出場経験者の選手と試合ができることは、他の横浜のチームにも誇れるところです。

毎年行われる代々木第二体育館で開催されるこの全国シニア交歓大会は、他の大会と趣を異にする大会となっていると思います。試合後の懇親会では何度かお会いしていることでお互い顔見知りになり楽しい会話が弾みました。今回はチョット失礼かもわかりませんがオウンゴールを見せてもらい、お酒の勢いもありこの話で楽しく盛り上がらせていただきました。北海道チームありがとうございました。

こうして何度か交歓大会に出場しているうち、私も67歳となりました。バスケってこの年になってもまだできるものなんだと考えているこの頃ですが、7年ほど前に選手が集まらなくなりチーム解散の危機がありました。さらに私自身も体調を崩し2度の大きな手術もしましたが、今何とか元気にやっていられるのも、好きなバスケをやりたいという一心からかも知れません。

今回からは70歳以上の方たちの試合も組まれましたが、皆さんの元気なプレイぶりには驚き、感心しました。自分も70歳を迎えた時、今回の諸先輩同様元気にプレイできることを目標に頑張っていこうと心に決めました。

今回の大会は、2日間の日程で1チーム2~3試合となり、試合時間が10分ハーフということでしたが、少し短いように感じられたのは私だけでしょうか。

このシニアバスケットボール交歓大会の開催にあたり、振興会の皆様には会場の確保、 試合の組み合わせ、さらに懇親会会場の設定等いろいろと有難うございました。今後もこ の大会を継続していただき、生涯スポーツとしてのバスケットボールの普及発展をしてい ただければと願っております。

深く感謝するとともに、また来年も元気で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

[埼玉トロッターズ] ○印振興会会員

				- ,
選	手	氏	名	年齢
加	藤	禎	_	8 0
田	中	義	郎	7 5
荒	蒔	孝	次	7 4
○鷺	澤	秀	夫	6 9
謝		文	伸	6 6
加	藤		守	6 4
○増	井	英	明	6 3
Ш	上		勉	6 3
久侈	~谷	祥	郎	6 3
木	村	和	史	6 2
須	藤	邦	春	6 2
俵	木		登	6 0
植	波	吾	_	6 0



#### 全国シニア交歓大会 in YOYOGI に参加して

埼玉トロッターズ 加藤 守

6月6日・7日「全国シニアバスケットボール交歓大会 in YOYOGI」が代々木第二体育館で開催されました。代々木第二体育館といえば、東京オリンピック開催のために建築されたバスケットボールの聖地であり、過去幾多の名勝負が行われたところです。

60歳の我々もコートに立つと、気持ちは何十年前の若人に戻って闘志満々、いざ試合開始の笛が鳴り、敵味方入り乱れてのプレイが始まりました。

現実に老いた身体は、その闘志についていけない残酷に遭遇し、随所に珍プレイが続出しました。それでも一度火がついた闘志は収まらず、熱くなる場面もあり60歳にして益々元気、いいことであります。

また、70歳以上の先輩の試合もあり、日頃の練習と練習後の反省会の成果に裏付けされた元気なプレイが見られましたし、先輩たちの日頃の練習を見習わなければいけないと思いました。

試合も終わり、NO SIDE、各チーム全員による懇親会、たちまち日頃の練習後の反省会の成果が爆発し、プレイ以上のパワーが見られ、飲み方の方は衰え知らずでした。各テーブルにて、今日の試合、各プレイ、また若き日の思い出話に花が咲き、和気あいあいの懇親会でした。

来年もまた元気に代々木でプレイができるように、反省会を含めて毎日毎日のトレーニングを欠かさず、継続する必要があると思いました。

この年になると上手いとか、試合に勝つよりも如何に長く元気に、仲間を大事にしながら続けることが大切であると感じております。また来年を楽しみにしています。

#### 「シルバーキッズ(兵庫) ○印振興会会員

	, ,	ヤツ/	へ(共産	半/」 (
選	手	氏	名	年齢
〇日	笠		敦	8 7
西	島	靖	之	8 2
ОЩ	本	嘉	宏	7 7
○酒	井	恒	夫	7 6
=	谷	千	尋	7 6
野	村	治	夫	7 6
渡	邉	操	六	7 5
天	摩	義	信	7 5
西	山	智	章	7 5
○野	嵜	正	_	7 4
玉	分	孝	雄	7 4
伊	藤	宏		7 3
〇上	野	正	紀	7 1
○磯	野	和	彦	7 0
横	田	茂	治	6 5
永	福		隆	6 5
藤	原		徹	6 4
谷	野	章	=	6 4
山	口	敬		6 4
竹	厚	修		6 4



#### 全国シニア交歓大会 in YOYOGI に参加して

シルバーキッズ 山口 敬

私は「全国シニアバスケット交歓大会 in YOYOGI」に参加することを毎年楽しみにしています。それは会場の代々木第二体育館が我々バスケットボール競技者にとって憧れの場所、いわば高校球児にとっての甲子園。しかも東京オリンピックの元日本代表選手と同じコートでプレイできるなんて、永年バスケットボールを楽しんできた我々にとっては最上の喜び。ところがこのことを若い人たちに話してもピンとこない様子。確かに東京オリンピックは 1964 年に開催されたので、彼らは未だ生れていなかったから仕方がないのかも知れません。うーん残念。やはり我々爺さんたちのノスタルジーなのでしょうかね。

今年の大会は70歳以上の部が設定され、我がシルバーキッズも西の雄(平均年齢で)として名古屋フリーダムの長老も交え、東の雄SOSと戦うことになり、最近はスターティングメンバーとして試合をすることが少ないベテラン選手たちも練習時から相当気合いが入っていました。

しかしながら試合の結果は長身者の揃った元オリンピック選手には残念ながら歯が立たなかった様子(足腰は十分立ったのですが)です。ともあれこの大会が還暦を過ぎ、喜寿、傘寿、米寿、卒寿を迎えようとしている選手たちにとって、闘争心に再点火してナイスプレイに挑戦する楽しいひと時であることに間違いはありません。我々シニアのゲームでは、思うように足が動かず転倒する選手がいても、彼がどんなプレイをしようとしていたか想

像力を逞しくして観戦するのがマナーかも知れません。

私自身も残念ながら思うように身体は動かず、年々体力の減退を実感する結果になりました。しかしながらこの大会で、懐かしい人たちにも再会でき、お互いの健康を讃え合うことができたことは大いに満足ですし、全国の同世代のプレイヤーの身体の動きを実感して、これからの1年改めて私自身精進する励みにもなったと思っています。お世話いただいた振興会の皆様には感謝いたします。

さて、我がシルバーキッズは創立12年になりますが、65歳になる私も若手と言われるほどチームの平均年齢が高く、もっと若い老人を迎え入れなければいつまでもボール持ちから解放されません。普段の練習時にはプレイはしなくとも活動記録や、得点付け、タイマーなどお手伝いのために参加される先輩方もおられ、練習後の恒例の飲み会では老若男女今昔の話題でワイワイガヤガヤ。本当に素晴らしい仲間です。「いつまでも少年の心を!」

高齢化が世間の話題なっている昨今、家に閉じこもるのではなくバスケットボールを通じて心身ともに若さを保って楽しめることや友達の輪を広げられることを、身をもって若い世代に伝えていくのも我々シニアの責任かと思っています。

#### [セブンブラザーズ]

#### ○印振興会会員

選	手	氏	名	年齢
旦	見	博	康	6 9
飯	島		宏	6 7
哲	Ш	和	人	6 6
○蒲	田	尚	史	6 6
若	Щ	秀	夫	6 6
高	橋	純	三	6 6
○佐々	木	政	治	6 4
西	島		修	6 4
○池	本	祐-	一郎	6 1
新	井	親	平	6 0



#### 全国シニア交歓大会 in YOYOGI に参加して

セブンブラザーズ 佐々木 政治

今年もすべてのシニアにとって、待ちに待った全国シニアバスケットボール交歓大会が、 バスケケットボールの聖地代々木第二体育館で開催されました。

シニア大会の参加資格は男子60歳以上、女子50歳以上となっており、男子8チーム、女子4チームが参加、しかも今回からは70歳以上の対戦が組まれました。しかしどの試合もシニアと言わなければ普通の実業団リーグといってもわからないほど、皆さん元気なプレイぶりであり、本当に敬服の至りでありました。参加チームは押し並べて、定期的な練習を行っているとのこと、日頃の練習の成果が見事に反映されていたものと思いました。

我が国で、65歳以上の高齢者は現在4人に1人、そして今世紀半ばには2人に1人の超高齢社会を迎えると見込まれています。こうした背景を踏まえて、年金制度や医療保険など社会保障制度の改革が叫ばれていますが、どういう制度を構築するにしろ、高齢者一人一人が健康で少しでも社会への貢献を果たすことが必要ではないかと思います。シニアバスケットボール大会はその一助になるよう益々発展されることを期待しています。

さて、わがチーム、セブンブラザーズは国立7大学の混成軍です。昨年は振興会の名前をお借りして参加、今年は2回目の参加でほんの少し新戦力を加えて臨んだ次第。

今年は2試合が組まれており、1試合目の対神戸シルバーキッズ戦は残念ながら惜敗、2試合目は対SOS、昨年は歯が立たなかったため何とか善戦をと期待していました。しかし、案に相違して大幅リード、これは初勝利と喜びに湧きました。しかし東京オリンピックの元代表選手他、東京六大学の元レギュラーメンバーで構成されるSOSは、オールコートプレス(!)など終盤本気を出して急追、残り時間ゼロで1点差、最後にパスカットされ万事休すと思いましたが、幸運なことに最後のシュートがはずれて(はずしてもらって?)勝利を挙げることができました。バスケットボールの醍醐味を与えていただいた対戦相手のSOSにお礼を申し上げます。

最後になりますが、2日間の大会運営につき振興会の皆様には格段のご尽力をいただき 心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、来年皆様方と一緒に元気でプレイができることを楽しみにしています。

#### [帯広シルバーズ]

#### ○印振興会会員

選	手	氏	名	年齢
ОЩ	田	直	秀	7 0
柴	田	清	典	6 5
○駒	井	新	_	6 5
覚	張	勇		6 5
増	田	健	治	6 4
根	元	秀	樹	6 3
吉	田	省	史	6 3
〇田	中	芳	郎	6 2
佐	藤	慎	次	6 1
仙	丸	勤		6 0



#### とても素敵で贅沢なバスケットボール

帯広シルバーズ 山田 直秀

<北海道(帯広)から初めての参加>

「憧れの舞台で楽しみたい」・・・これは今回の大会参加に際して地方紙「十勝毎日新聞」の取材を受けた時の新聞の見出しです。

私たちにとって、全くこの見出しのとおりの気持ちで参加させていただきました。6月

6日(木)私たちは午後2時の飛行機に乗るべく勇んで十勝帯広空港に参集しました。しかし、羽田でJALの集荷システムの不具合とかで出発が遅れるとの連絡があり、結果3時間後の5時過ぎに出発。仲間内には、家に連絡し妻に「まだ帯広にいるの」と意味もなく詰められていた人もいました。

梅雨に入った東京は蒸し暑く、しぶしぶと雨が降っていました。出始めから何か暗雲に 包まれたような気持でしたが、遅い夕食が終わるころには「せっかくここまで来たのだか ら明日から頑張ろう」とみんなで云い聞かせ合いました。

#### <憧れの舞台での試合>

代々木第二体育館の独特な外観は50年前の私の学生時代を思い起こさせてくれました。 すり鉢状の観覧席の底にコートが1面だけ堂々と居座っていました。なんと贅沢で素晴ら しいコートでしょうか。ここでゲームができることの幸せを感じ、少し身震いしたのは私 だけではなかったと思います。

初戦はSOS。横浜カップのリベンジとはなりませんでしたがドロー。事件は第2戦シルバーキッズとのゲームで起こりました。お互い苦しいゲームで競り合っているとき、こともあろうかうちの若きエースがオウンゴールを見事に決めてしまったのです。何十年ぶりで、しかも自分のチームのオウンゴールは初めて見ました。一瞬ビックリ、そしてベンチではみんなひっくり返るほどの大笑い。これで緊張がほぐれてか1点差で勝ち。私たちは大きな土産話ができたと内心ほくそ笑んでいました。2日目も我がチームとしては粘るゲームになり、これまでの成果と満足しています。

盛大で和やかな懇親会は、たまたま応援に来てくれた私の高校時代、大学時代の友人も 参加させていただき、楽しくそして多くの方々と知り合いになれ有意義なものでした。

3日間、雨に歓迎され、これも久しぶりに頭から靴の先っぽまで、そしてバックの中までずぶ濡れになりながらも心は満ち足りたものでした。

振興会並びに渡辺さんはじめ事務局の皆さんのおかげで、とても素敵で贅沢なバスケットボールを堪能できたことを心から感謝し再会を祈念して筆を置きます。



テーブルオフィシャルも和やかに



# For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

melter

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のない、ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして

常に完璧な製品づくりを目指しています。

株式会社 - 東京都墨田区横川五丁目5-7

www.molten.co.jp



渋谷センター街では、スポーツ振興と青少年の健全育成を基本理念に、国際色・ファッション性を考え合わせ、メイン通りの名を「バスケットボールストリート」とし、2012年秋にはシンボルとなるモニュメントも設置いたしました。

5年10年と時をかけて、、、

この「バスケットボールストリート」 通称「バスケ通り」 を定着させていきたいと考えています。





